

命の大切さを考える

7月6日、今井小学校の6年生40人が命の大切さ・救急ふれあい教室」で命の大切さについて学びました。袋井消防署の救急救命士が、命は自分一人のものではなく、先祖代々受け継がれてきた大切なものであることを説明。児童たちは、命について真剣に

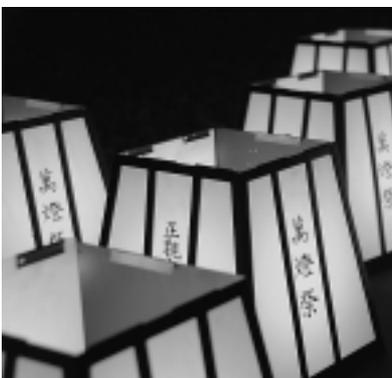
考えた後、ダミー人形を使って心臓マッサージを体験し、心臓の位置や押す場所、押し方などを体で覚えしました。AED（自動体外除細動器）についての知識も深め、命の大切さや尊さについて真剣に考えていました。



幻想的な光景にうつとり

7月9日・10日、法多山で万灯祭が行われました。本堂周辺や石段に設置された、たくさんの灯ろうに明かりが灯されると、夕闇に幻想的な光が出現。参拝に訪れた人は、幻想的に揺れる光にすっかり

魅了され、いつまでも眺めていました。このほか、「厄よけほおずき市」や「津軽三味線のステージイベント」なども行われ、訪れた皆さんは、風情あふれる夏の風物詩を楽しんでいました。



トップレベルの演技・指導に大満足

7月9日、袋井東小学校6年生がエアロビックの国際大会で入賞経験のある鈴木久恵さんから、エアロビククの魅力について教えてもらいました。

袋井東小学校は、県の体力アッププロジェクト創作ダンス部門で2年連続最優秀賞を受賞。ダンスに積極的な児童

たちは、より美しく見せる手足の伸ばし方やリズムの取り方を学ぶとともに、鈴木さんの演技を見て、本物の迫力やスピードなどを体感。

児童たちは、「先生に教わったことを生かして、今後も頑張ります」と笑顔で話していました。



愛情たっぷりみそ作り

7月4日から3日間にわたり、J A 遠州中央袋井支店ふれあい生活工房で、10人が参加して「手作りみそ講座」が行われました。

地元の特産品である米と大豆の消費拡大を目的に行われ、体に優しい減塩のみそ作りに初挑戦。

米にこうじ菌を混ぜる作業や大豆をミンチ機にかける作業など、一つ一つ丁寧に取り組みました。出来上がったみそは、各家庭に持ち帰り、半年以上熟成させて食べごろを迎えます。

